



# 赤麻小だより

第19号

平成27年2月2日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

新年を迎え3学期がスタートしたばかりとと思っているうちに2月に入りました。まだ冷たい風も残りますが、窓から差し込む光は、眩しく白く感じることがあります。先週は校庭が雪で冬景色となりましたが、それも一瞬のこと。子どもたちが雪合戦をすることもなく、雪は溶けてしまいました。校庭の梅の花も咲き、春の訪れを一足早く知らせているようです。2月は3日に「節分」、4日が「立春」と、新しい春のはじまる月です。「立春」からはじまる新しい季節の前に、「節分」で豆まきをしたり、柊鱈(ひいらぎいわし)などを作り門口に飾ったりと邪気払いをし、身や心や場を清めます。清らかなところに自然と福や幸運がやってくると考えられ、「鬼は外、福は内。」と豆まきをする風習が日本には伝わっているのです。この機会に身も心も仕切り直しをし、4月から始まる新しい学年の準備を整えていくと良いのではないのでしょうか。

学校では、卒業や修了に向けた準備も始まります。「2月は逃げる」「3月は去る」などといわれますが、子どもたちの進学進級に向けた総まとめを、計画的にしっかりと行ってまいります。一日一日が大切な時間となります。インフルエンザの流行の兆しはまだありませんが、今後も子どもたちが元気に過ごせるよう、ご家庭での過ごし方や健康管理にもご留意いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 子どもたちの活動から

### 《6年生は学びがいっぱい！！》

【先輩に学ぶ】藤岡第一中学1年生の先輩から学びました。



1月22日(木)に、藤岡第一中学校1年生5名の生徒の皆さんが、中学校生活についての説明と懇談に来校いたしました。これは毎年、小学校と中学校の交流活動として実施されている「先輩に学ぶ」という活動です。5名の生徒の皆さんは本校の卒業生で、6年生にとっては昨年まで一緒に小学校生活を送っていた先輩です。その5名の先輩が、中学校生活の様子をDVDの映像で紹介したり、制服や体操着の説明をしたり、グループになって質問に答えたりしてくれました。



多くの質問に丁寧に答えてくれたので、

6年生の中学校生活についての不安や心配は解消されたようです。進学する6年生の中には、4月からの生活に不安を抱く子もいることでしょうか。新しい生活をスムーズに始めることができるために、このような小学校と中学校の交流活動は大切なものと考えております。忙しい中、小学校に来校してくれた中学生と、引率して下さった先生方に感謝いたします。ありがとうございました。

【租税教室が開かれました】税金について学びました。



1月27日(火)に租税教室を実施しました。講師は、栃木市役所藤岡総合支所税務課の成松様と北村様です。パネルやDVD、パンフレットなどを活用し、税金の種類や説明、税金の使い方などを学習いたしました。自分の生活の中で何気なく使っているものに税金が使われていることや、働いた(仕事をした)収入や買い物をし

た代金の中から税金が納められることで暮らしやすい社会となっていることを、子どもたちにわかりやすく説明していただきました。


この学習を通し、将来の納税者としての子どもたちが、「税金」について正しい知識を身につけ、「税を納める」大切さと必要性を理解してほしいと思っています。

【琴鑑賞会を開催】 琴と尺八の美し調べが響きました。



1月29日(木)に、和久文子先生、前川智世先生、福田智久山先生、3名の演奏者の方をお招きし、本校の体育館で琴鑑賞会を実施いたしました。琴と尺八の演奏だけではなく、楽器の仕組みや形にまつわるお話等、興味深い内容に、子どもたちも身乗り出して聴き入っていました。「さくらさくら」の変奏曲や宮城道雄作曲の「春の海」という

日本の調べの他、昨年誰もが耳にしたり歌ったりしたアナと雪の女王の主題歌「Let It Go(レット・イット・ゴー)ありのままに」も演奏していただき、子どもたちは思わず歓声を上げ口ずさんでいました。日本の楽器・日本の調べの美しい響きに、感動する一時でした。鑑賞会の後は、6年生対象の音楽教室です。体育館では琴、音楽室では尺八と、それぞれの体験学習をいたしました。一生懸命練習をし、琴では「越天楽今様」を演奏することができました。なかなか触れることのできない和楽器ですが、このような機会があれば、今後も実施してまいりたいと思います。

以上が1月に実施した6年生の学習活動でした。 

【3年生は栃木消防署見学に行ってきました】



3年生は、1月27日(火)に、校外学習で栃木消防署を見学してまいりました。消防自動車や救急車の説明を受けたり、装備してあるものを見たり、実際の車両の中の様子を見学したりしました。梯子車にも数名ごとに全員が乗り、上空からの眺めを体験しました。途中、救急車の出動もあり、ワクワクドキドキの校外学

習となったようです。消防署の皆さん、お忙しい中ありがとうございました。



ことば あ・れ・こ・れく10)



立春は二十四節季のめぐりで、一番始まりの節季です。今月はその立春に行うおまじない「せつぶん」という詩を紹介します。



せつぶん

秋原秀夫

おには そと  
おには そと  
どこの いえでも  
まめを まく

おには いったい  
どこへ いく  
はだかの おには  
さむい だろ

ふくは うち  
ふくは うち  
どこの いえでも  
まめを まく

ふくは いったい  
どこに いる  
きゅうに よばれて  
こまる だろ



「立春大吉」と縦書きに書いた紙を、家の柱に貼るおまじないです。これは、文字の形が左右対称なので、物事のバランスを保ち縁起がよいということから、一年を平穩無事に過ごせるおまじないになるそうです。ちなみに、裏から見ても「立春大吉」と読めます。

日本には、昔から伝わるいろいろな風習があるものと、改めて感じます。

